

## 国際交流に関するアンケートにご協力ください

市では、菊池国際交流協会や各種団体の協力のもと、現在韓国(全羅北道金堤市・忠清北道清州市)や中国(山東省泗水県)の友好都市との相互交流を中心に国際交流事業を行っています。

そのほか、市内在住または市内の企業に勤務している外国人と市民の交流会や、海外からの修学旅行生や交流団、視察研修の受け入れをととして市民の国際交流の場を企画しています。

### 市の国際交流事業 (過去10年間抜粋)

- ・韓国友好都市のまつりへ交流団派遣
- ・韓国友好都市との中学生相互ホームステイ
- ・韓国友好都市交流団の市内マラソン大会参加
- ・韓国・中国の友好都市とのスポーツ交流
- ・ブラジル熊本県文化交流協会との交流会
- ・市内高校における外国人高校生との交流会
- ・立命館アジア太平洋大学見学ツアー
- ・市内在住又は勤務の外国人と市民の交流会
- ・外国人アーティストを招いてのコンサート



皆様のご意見を今後の国際交流事業に生かすため、アンケートにご協力をお願いします。  
付属の専用ハガキ(切手不要)、または市ホームページで回答できます。(回答期限12月26日)

#### 質問 1 年齢を選んでください。

- ① 20歳未満    ② 20～30代    ③ 40～50代  
④ 60～70代    ⑤ 80代以上

#### 質問 2 性別を選んでください。

- ① 男    ② 女

#### 質問 3 「国際交流」に興味、関心がありますか。

- ① とても関心がある    ② まあまあ関心がある  
③ あまり関心がない    ④ 全く関心がない

※③または④を選んだ人は調査終了です。

#### 質問 4 今後どのような国際交流事業を行うべきか、 あてはまるものを選んでください。(3つまで)

- ① 学生の語学習得・コミュニケーション力育成につながる交流  
② グローバルに活躍する人材育成につながる交流  
③ 海外友好都市(韓国・中国)との相互交流  
④ 外国の文化芸術に触れる催しの開催  
⑤ 外国で開催されるスポーツ大会出場等スポーツ交流  
⑥ 留学生派遣(市内中高生)  
⑦ 視察研修・交流団派遣(大人)  
⑧ ホームステイ希望者の受入れ

- ⑨ 外国人観光客の誘致  
⑩ 外国人観光客と交流できるプログラム作り  
⑪ 菊池市内在住外国人への支援や交流会  
⑫ その他( )

#### 質問 5 どのような都市と交流を行いたいですか

国・地域・都市名( )

その理由としてあてはまるものを選んでください。また、具体的な理由があれば記入してください。

- ① 文化的に特色がある(具体的に: )  
② 地理的に特色がある(具体的に: )  
③ 地理的に距離が近い  
④ 食、歴史、産業など菊池市と共通点がある(具体的に: )  
⑤ 観光客誘致に繋がる見込がある(具体的に: )  
⑥ 英語圏である  
⑦ 今後経済成長が期待される  
⑧ その他( )

#### 質問 6 そのほか、国際交流についてご意見をお聞かせください。

( )

## 作文

# プラチナ未来人財育成塾

参加報告

## 将来の第一歩

菊池南中学校3年 なかもと 亜梨紗さん



プラチナ未来人財育成塾に参加して、自分の将来を考えることができました。市役所に行く前は、初対面の人と仲よくなれるか不安でした。話してみると仲よくなることができました。菊池の7名で東京スカイツリーへ行きました。首が痛くなるほど高かったです。夜ごはんはカレーでした。とっても美味しく、何杯も水を飲み、ナンもたくさん食べました。ホテルは居心地がよく、テレビを見て楽しめました。初日で頑張ったことは、話しかけることです。少し勇気がいることだけど、仲よくなれて、本当に楽しかったです。

3日からは、千葉県で講義とグループワークでした。せっかく仲よくなった菊池の人とはバラバラの班になり、同じ班の人に頑張って話しかけました。全国から集まっているので、出身地で有名なものの話や方言で盛りあげました。周りの人の積極性にはびっくりしました。特に、同じ班の1年生は、自分の意見をしっかりと述べていて、発表もたくさんしていて、とても刺激的な存在でした。講義後、質疑応答の時、私も発表できてよかったです。

製薬会社の会長や宇宙飛行士、日本銀行前総裁など、十四名の講師の方々の講義を聞きました。講師の方に共通することとは、自分の軸をもっていることだと思います。気仙沼ニッティング社長の御手洗瑞子先生と東京大学特任准教授の菊池康紀先生が言われていた、何を大切にす

るか、どんな人間でありたいか、どんな経験をし、そこから何を感じ、何を考えるのか、自分がしたいこと、できること、やりたいことは何かをしつかり考えることが大切だとわかりました。今まで、リーダーとは、声をあげ引つ張っていきような人だと思っていました。ですが、リーダーとは、おのずと人がついてくる人だと知り、考えが変わりました。プラチナ構想ネットワーク会長の小宮山宏先生が言われていた、「実態を考え今ある制度を変えよう」という考え方は、この先の未来で大切なことだと私も思います。課題を見つけ、解決する力を身につけることで未来は変わっていくと思います。小宮山先生の描くプラチナとは、二十世紀は寿命が長くなり、経済も発展したのでゴールド(金)で、二十一世紀は、誇りをもって輝くという深い意味だそうです。周りに興味をもったり、こうなったらいいのになという視点で物事をみること、挑戦と失敗をくりかえすことができるようになります。そして、自分の将来に誇りを持ち続けたいと思いました。

「今日は何を受信した?」「この木何の木私の木」「花束をつくらう」未来のキミに」という3つのグループワークをしました。1つ目は、その日の講義を班でふりかえりました。自分の思ったこと、考えたことと似ている人、違う人がいました。班の人と話し合うことで、意見が深まったり、新しい意見が出たりしました。自分の考えを言葉にして伝えること

は、改めて難しく、とても大事なことだと思いました。2つ目は、自分の信念を考えました。今までの人生で、うれしかったこと、楽しかったこと、辛かったこと、悲しかったことなどの出来事から、自分がどう思ったか、どういう人間なのかを考え、ぶれないものをみつけました。私の信念は「人の役に立ちたい」です。人のためにと思うと、頑張ろうと思うことができます。3つ目は、将来自分が何をしたいのかを考えました。職業名で選ぶのではなく、仕事の内容で選び、自分がどのような人でありたいか、それに必要な力は何かと考えることが大切なことに気づきました。私は「ワクワクする環境と人をつくる」ということがしたいです。今までしっかりと考える機会がありませんでしたが、自分の将来をしつかり考えることができよかったです。3つのグループワークを通して、私は「人」が好きだと知ることができました。人の役にたつて喜んでもらう、回りの人のおかげで成長できる。「人」って本当にすばらしいと思いました。

この6日間で、とても成長することができたと思います。感じたこと、学んだこと、考えたことを大事にしていきたいです。大学生やシニアの方、全国から集まった中学生、多様な人や世代と関わることができて、本当に貴重な経験になりました。自分の将来の第一歩になりました。